

～ 国指定文化財の紹介 ～

## 水子貝塚

指 定	国
種 別	記念物
種 類	史跡
員 数	1
指定日	昭和44年（1969）9月9日
所在地	富士見市大字水子2003-1



水子貝塚公園



発掘調査した貝塚

### 【概説】

水子貝塚は、縄文時代前期中頃（約6,000年～5,500年前）の集落跡です。現在の富士見市に海はありませんが、縄文時代前期と呼ばれる時代には、富士見市東側半分を占める荒川低地は海でした。水子貝塚は、魚や貝などの海の幸を求めて集まった人々がムラをつくり、残した貝塚のひとつです。貝が住居跡に捨てられたことで形成された約60か所の地点貝塚が、直径約160mの環状に分布しています。

昭和12年（1937）に発見されて以来、数回の発掘調査が実施され、昭和44年（1969）に国の史跡に指定されました。その後、遺跡の保存のため公有地化され、平成6年（1994）に「縄文ふれあい広場 水子貝塚公園」として開園しました。